

1. 格付結果

企業名	パナソニックシステムソリューションズジャパン株式会社
格付の種別	情報セキュリティ格付
格付IDコード	10000070102C1104
格付スコープ	新横浜拠点での官公庁からの受託業務における導入・保守の各業務
格付対象	SE センター システム技術グループ ソフトウェア開発チーム
想定リスク	情報漏えい
格付符号	AA _{-is} (ダブル A マイナス)
格付の方向性	新規格付
有効期間	2012年3月31日から2013年3月30日まで (交付日から1年間)

●お問い合わせ先 **株式会社アイ・エス・レーティング** 〒105-0001 東京都港区虎ノ門 3-7-10 ランディック虎ノ門ビル 2 階
TEL: 03-6430-0470 FAX: 03-6430-0473 <http://www.israting.com>

情報セキュリティ格付は、被格付組織等から入手した情報に依拠して形成した当社の意見であり、その正確性、完全性、網羅性等は必ずしも保証されていません。格付事由書、格付レポート等は、原則として被格付組織または被格付組織の格付けを要請した者からの依頼に基づき有償で作成されたものであり、被開示者、閲覧者等には参考情報としてご提供されるものです。格付事由書および格付レポート等は、被格付組織の事業やサービス、被格付組織との取引や情報共有等を推奨するものではありません。当社は、情報セキュリティ格付に関するクレーム、訴訟その他の紛争、被格付組織その他の第三者に関して生じうる一切の損害、損失、費用等について責任を負うものではありません。なお、情報セキュリティ格付に関する一切の著作権その他の知的財産権、営業秘密、ノウハウその他の権利・利益は当社に留保され、当社に専属的に帰属するものとします。

Copyright (C) 2012 ISRating All rights reserved.

2. 当該格付符号とした事由

パナソニックシステムソリューションズジャパン株式会社(以降、PSSJ 社と呼ぶ)は、法人・官公庁向け分野において、販売、システムインテグレーション(SI)、施工、保守メンテナンス、運用サービスなどの事業を、それぞれに展開してきたグループ 3 社の再編により、パナソニック株式会社の 100%出資子会社として 2008 年 4 月に設立された。2009 年 9 月には、汐留オフィスに本社機能を集約、翌 2010 年 6 月にはソリューションスクエア新横浜を開設、これまで分散していた SE や運用サービス担当部門を新横浜に集結させた。

同社の事業はパナソニックグループで生産されるプロダクトを軸として、トータルソリューションを提供することに特色がある。ソリューションスクエア新横浜の開設は、変化の著しい IT 市場のなかで、ノウハウの共有やより効率的なサービス展開に向けた取組の一環として実現した。

同社の情報セキュリティへの取組は、発電所やプラント向けの侵入検知システム、道路や鉄道・港湾向けの広域監視システムなどのセキュリティプロダクトの販売から、運用サポートに至るトータルセキュリティサービスを提供している。一方で自社の情報セキュリティ対策は、プライバシーマーク取得のほか、2009 年度に全社取得した ISO27001 の認証を、全社に先駆け 2007 年に取得するなど第三者における評価を踏まえた積極的な取り組みを実施している。

今回の審査では、ソリューションスクエア新横浜拠点での官公庁からの受託業務を展開する、SEセンターシステム技術グループ ソフトウェア開発チームを対象とした。

マネジメント成熟度の観点では、パナソニックグループが定める諸規程に加え、PSSJ 社の追加規程を作成、独自の手法で周知徹底を図っている。このためパナソニックグループとしての統制に加えて、PSSJ 社としての統制が機能している。情報セキュリティに関する体制も経営会議のメンバーを基礎とした全社的な組織を構築し、年間計画に沿った改善活動を実施している。マネジメント分野では、従業員に対するセキュリティ意識の醸成に力点が置かれ、各部における自主性を重んじ、局所的に必要な対策を導き出せるような対策を実施していることが確認された。

セキュリティ対策の強度の観点では、パナソニックグループのクライアント管理、ネットワーク管理等のセキュリティ基盤を保持しながら、重要情報を扱う環境の分離を行い、更に人的、システムの対策を強化しながら、セキュリティレベルの維持向上に努めている。

●お問い合わせ先 **株式会社アイ・エス・レーティング** 〒105-0001 東京都港区虎ノ門 3-7-10 ランディック虎ノ門ビル 2 階
TEL:03-6430-0470 FAX: 03-6430-0473 <http://www.israting.com>

情報セキュリティ格付は、被格付組織等から入手した情報に依拠して形成した当社の意見であり、その正確性、完全性、網羅性等は必ずしも保証されてはいません。格付事由書、格付レポート等は、原則として被格付組織または被格付組織の格付けを要請した者からの依頼に基づき有償で作成されたものであり、被開示者、閲覧者等には参考情報としてご提供されるものです。格付事由書および格付レポート等は、被格付組織の事業やサービス、被格付組織との取引や情報共有等を推奨するものではありません。当社は、情報セキュリティ格付に関するクレーム、訴訟その他の紛争、被格付組織その他の第三者に関して生じうる一切の損害、損失、費用等について責任を負うものではありません。なお、情報セキュリティ格付に関する一切の著作権その他の知的財産権、営業秘密、ノウハウその他の権利・利益は当社に留保され、当社に専属的に帰属するものとします。

Copyright (C) 2012 ISRating All rights reserved.

総じて、昨年指摘した事項についても改善活動が継続されており、情報セキュリティに対する取り組み意識は継続して醸成されている。マネジメント成熟度では継続的な改善プロセスを有し、高水準の管理状態を維持・発展させているレベルといえる。また、セキュリティ対策強度では、内部の状況を考慮した上で、悪意のある内部者に対する管理策が講じられているレベルにあると評価できる。

以上